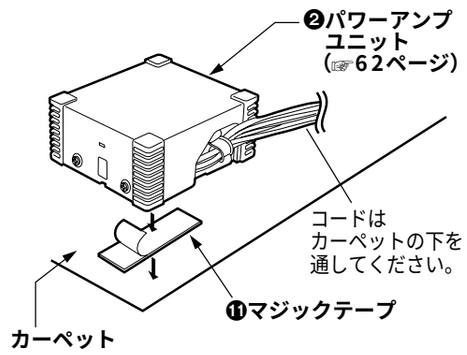
取り付けかた

パワーアンプユニットについて

マジックテープを使って、助手席のシート下などに取り付けてください。

- パワーアンプユニットの底面に貼り付け、カーペットの上に取り付けます。

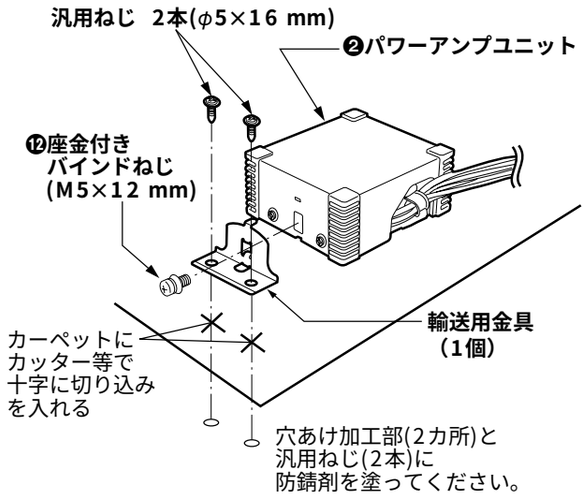


お知らせ

- カーペットの種類によっては、マジックテープで取り付けられないことがあります。

輸送用金具を使うときは

1 付属ねじ⓬で、輸送用金具をパワーアンプユニットに取り付ける。
2 輸送用金具の穴に合わせて、車体に3.5 mmの穴をあける。（2カ所）
3 汎用ねじ（2本）で、パワーアンプユニットを車両に取り付ける。



お願い

- 本機を連続して使用すると、パワーアンプユニットが熱くなります。動作中には手などを触れないようご注意ください。また、上に物などを置かないようにしてください。
- ヒーターの吹き出し口の近く、およびダッシュボードやリヤートレイの上のように直射日光のあたる場所など、高温により故障するおそれがある場所には取り付けないでください。
- ドアの近くなど、雨水がかかりやすい場所や足で踏まれる場所には取り付けないでください。
- マジックテープ貼付面の油・水・ほこりなどを、必ず取り除いてください。
- 車体に穴をあけるときは、下にあるパイプ類や配線などをご確認ください。
- シートをスライドさせたときに、コードがはさまれない場所に取り付けてください。

用語解説

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を、左フロント、右フロント、センター、左サラウンド、右サラウンド、サブウーファー（0.1チャンネル）の5.1チャンネルに分解して記録・再生します。大量の音声データを効率良くディスクに納めることができるので、ステレオやモノラルといった音声でも、複数言語の収録などのために採用されています。

dts（Digital Theater System）

ドルビーデジタルを上回るデータ量で、より高品質のサラウンド再生ができる方式です。ドルビーデジタルと同様に、音楽信号を左フロント、右フロント、センター、左サラウンド、右サラウンド、サブウーファー（0.1チャンネル）の5.1チャンネルに分解して記録・再生する完全ディスクリート（分割）方式です。

ドルビーサラウンド

左フロント、右フロント、センター、モノラルサラウンドの4チャンネル信号を2チャンネルで記録し、それを、ドルビープロロジックデコーダーで解析して再度4チャンネルに出力する方式です。サラウンドチャンネルの出力はモノラルです。

リニアPCM音声（LPCM）

音楽CDに用いられている信号記録方式です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDビデオでは、44.1 kHz/16 bit～96 kHz/24 bit、DVDオーディオでは、44.1 kHz/16 bit～192 kHz/24 bitで記録されているので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

サンプリング周波数、量子化ビット数

アナログ信号をデジタル信号に変換するとき、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。1秒間に区切る回数を表したのがサンプリング周波数で、そのときのデータ量の大きさが量子化ビット数です。これらの数字が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

タイトル、チャプター（DVDビデオ）
グループ、トラック（DVDオーディオ）

DVDは、いくつかの大きな区切り（タイトル、グループ）と小さな区切り（チャプター、トラック）に分けられています。番号が付いているので、指定してお好きなところから再生できます。

例）DVDビデオでは

タイトル 1			タイトル 2	
チャプター 1	チャプター 2	・・・・	チャプター 1	・・・

例）DVDオーディオでは

グループ 1			グループ 2	
トラック 1	トラック 2	・・・・	トラック 1	・・・

トラック（ビデオCD、音楽CD）

ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられて、それぞれ番号が付けられています。

例）

トラック 1	トラック 2	トラック 3	トラック 4

パン＆スキャン画面

通常サイズ（4：3）のテレビでワイド版の映像を再生したとき、左右の切れた状態で表示される画面のことをいいます。

レターボックス画面

通常サイズ（4：3）のテレビでワイド版の映像を再生したとき、上下に黒い帯が入った状態で表示される画面のことをいいます。

プレイバックコントロール（ビデオCD）

パッケージに「プレイバックコントロール対応」などの表記があるものは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。